

Professional opinion about...



■ LEDマイクロライト

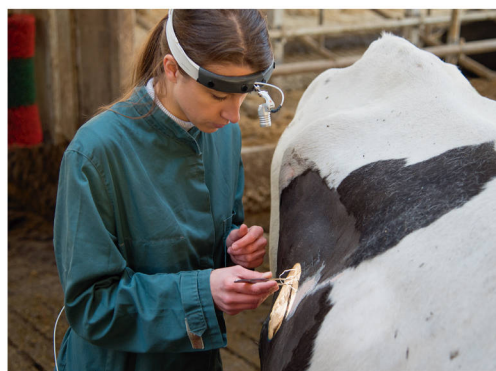


LEDマイクロライト Sフレーム

通常、馬小屋は暗く、獣医師は自分で光源を用意しなくてはなりませんが、ヘッドライトを使用すると、馬や大型動物の診察が格段にしくなります。特に傷などの外科的治療や厩舎での手術には非常に便利です。夜間に行われることの多い牛の帝王切開には、優れたヘッドライトが欠かせません。獣医師の作業環境が大幅に改善され、手術のスピードアップが可能になります。爪の外科的処置または乳頭損傷の治療時にも、両手が自由に使えるヘッドライトを使用することで、作業性が大幅に向上します。馬の歯のケア用にヘッドライトを使用することは、現在では当たり前になってきており、獣医師にとってヘッドライトは必需品です。

HEINEのLEDマイクロライトは小動物だけでなく、馬や大型動物の診察・治療に適した、すべてのケアに役立つ有用な製品といえます。超軽量のコンパクトなデザインで長時間の使用も快適です。防塵設計が施されたアルミハウジングが埃や汚れから光学系を保護し、光のクオリティを維持します。LEDマイクロライトには、快適に頭にフィットする軽量のヘッドバンド式と強靱なポリカーボネート製レンズを装着した眼鏡式の2種類があります。

LEDマイクロライトは、検査や治療、手術などを行うあらゆる場所で、明るく均質で影のないライトが得られる、獣医師に必須のアイテムです。動物のいる場所で仕事をする獣医師には大きなメリットになります。



LEDマイクロライト 軽量ヘッドバンド



リサ・ベアヒルトド 博士：2006年に獣医師免許を取得。2009年以来、ドイツ・ワイルハイム地区で獣医師として勤務



■ EL10/EL3 LEDエグザミネーションライト



EL10 LEDエグザミネーションライト

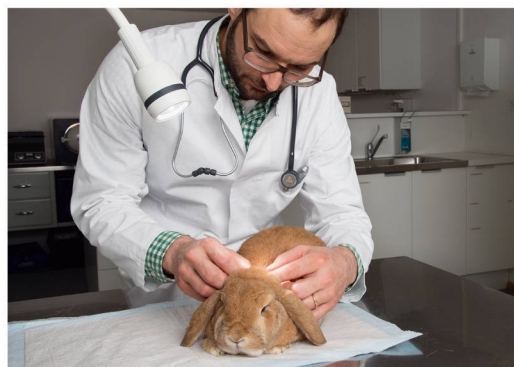
- ❖ 結膜を観察する
- ❖ キャピラリーテスト(CRT)を行う
- ❖ 顎と歯の粘膜を調べる
- ❖ 被毛や皮膚の状態を評価する

これらは小動物を専門とする獣医師にとって毎日の仕事です。そのためクリニックで使用するライトは、獣医師にとって非常に有用なツールとなります。皮膚についた寄生虫の検査や抜糸などの処置に、あるいは手術部位を照らすなど、簡単な操作で自在に調整できるライトが不可欠です。診察や治療の際には、明るく均質で患部を自然のままに見せる、光のクオリティが特に重要となります。

エグザミネーションライトは、壁や診察台に設置したり、モービルスタンドに取り付けて自由に移動させることができます。

フレキシブルに調整可能なグースネックは、動物の大きさに合わせて正確かつ迅速に位置決めができます。スポットサイズや光量の調節も簡単で（EL10のみ対応）、動物や飼い主がライトにより驚かされることがありません。LEDを内蔵したハウジングは熱対策が施され、動物や獣医師がハウジングに触れても熱くなく安全です。

ライトのメンテナンス性も重要です。このエグザミネーションライトは防塵対策が施され密閉構造となっているので光学系に影響を及ぼすことなく、簡単に外表面のクリーニングが行えます。



EL3 LEDエグザミネーションライト



リサ・ベアヒルト博士：2006年に獣医師免許を取得。2009年以来、ドイツ・ワイルハイム地区で獣医師として勤務

